（様式第８号）

事業報告書（令和４年度）

事業名　種や食の安全に関する学習会

団体名　たねをまもる会おかやま　担当者名　下山田桂

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

１．活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）
①菌ちゃん（吉田俊道）先生講習会記録動画の編集作業 日時　2022年7月～2023年2月 場所　1回目7月13日会議は吉備中央町のはれまに、2回目以降はLINEにて。 参加対象者　興味のある方はどなたでも 人数　12人 内容　2022年5月30日に行った菌ちゃん（吉田俊道）先生の講座にて生ごみを漬物にしてから畑に返していく方法を教えていただき、その内容が素晴らしかったので、記録の一部を参加できなかった方にもご覧いただけるように編集しYoutubeにアップロードした。記録の一部を公開するにあたり、必要部分とカットしても良い部分の振り分けなどを話し合い。2回目以降はオンラインにて打ち合わせ。実際の編集作業は愛甲さんにお願いした。 （写真）https://www.instagram.com/p/Cf8nyjKJTyN/ （動画）http://youtu.be/y07Q1yzgWRg ②キエーロ自作ワークショップ事前勉強会 日時　2023年1月17日(火)19:30～21:30 場所　zoom 参加対象者　どなたでも 人数　24人 講師　全国キエーロ普及推進協議会　松本 信夫、福島 典子、上野 綾香、 内容　2023年2月18日に加茂川ホリディフォレスターとコラボで行ったキエーロ自作ワークショップに備えて、どなたでも参加可能（ワークショップ参加者は必須）の、事前勉強会を考案者の松本さんとキエーロオフィシャルの皆様とのご協力のもとzoomで行った。 （記録） https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=pfbid01K2E2fKcuqpHadDPSrdhjXFXMee7NXWwdXzhToJro5dVxMMnvT2RAjqxSdcaymv1l&id=100003714715819 ③キエーロ自作ワークショップ 日時　2023年2月18日(土)10:00～15:00 場所　加茂川ホリディフォレスター、研修棟 参加対象者　どなたでも 人数　24人（参加者10人、加茂川ホリデイフォレスター8人、たねをまもる会おかやまスタッフ2人、見学者4人）

（様式第８号）

講師　加茂川ホリデイフォレスター　戸川勇夫氏　他７名
内容　生ゴミを土、太陽、風の力を借りて分解し、堆肥にするシンプルな非電化コンポストであるキエーロを自作するワークショップ。
（イベントページ）
https://www.facebook.com/events/545396437640174/?ref=newsfeed
（報告１）
https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=pfbid0XePXB5jHdSuPgv2X8F16GvLxW3DeHR4RypdizTLBNttR3XCxx8gXqTCpy3ZPyG4Dl&id=100003714715819
（報告２）
https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=pfbid025ZWQ7dDgyDbz39W2GWVuDuRW25YKdhtMksojfR7TtB6HiLK44kohaCGKyQCC3Wcxl&id=100063624996411

２．ESD の視点

①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

自分の台所から水分の多い生ゴミを焼却ごみとして出さず、自分のところで分解させることができ、たい肥にできるという循環の輪ができる様々な方法があることを実感して体験することができた。

①菌ちゃん先生の農薬を使用しない農業を土づくりから学び、食べ物を通じた命の繋がりや循環を学ぶ講座を記録した動画を繰り返し観て、他の方にシェアしたいと思う、伝えたい部分、不要な部分がどこなのかを考えながら動画の編集作業をした。
しかし、菌ちゃん先生の方法は温かい季節は難しいことがある（生ごみが発酵せず腐敗に向かう）ことも分かった。
②生ごみ処理機キエーロについては、まず、キエーロとは？何だろうというところから、丁寧に開発者の松本さんやベテラン利用者のキエーロオフィシャルの皆さんから分かりやすい説明を聞く勉強会を zoom で行った。生ごみ処理機キエーロを利用することで、電気も特別な菌を利用することなくどんなふうにご家庭の生ゴミを分解、循環してくれるか理解できた。キエーロが全国のたくさんの自治体で助成や配布されている理由が理解できた。
また、この方法だと夏の温かい季節でも生ごみ処理の失敗が少ないことが分かった。
③キエーロ作成ワークショップでは、材料の木材として、吉備中央町の小学校で伐採されたヒマラヤ杉を利用し(写真 A)、それを製材して、防腐剤の柿渋を塗り今回のワークショップのために準備することができ、身近なものを利用して、必要な道具を作ることを体験できた。
実習には、作業の指導者(写真 B)が参加者２人につき１人という手厚いサポートがついたため、初心者でも安全に立派なキエーロを完成させることができた。
以下、参加者アンケート（一部抜粋）
「手取り足取り教えてもらえたので木工初心者、子どもでも作れました。これを実際にすぐに生活の中で使えることが素晴らしい。楽しみです。」
「初めてのことでもみんなが手伝ってくれて、安全に楽しくできた」

（様式第８号）

「地元の木でできた！お手伝いにきてくれた人に　たくさん手伝ってもらい　和気あいあいで楽しかった。キエーロの事前学習も良かった。キエーロが　かなり立派(写真 C)！」

A.

B.

C

②どのように学び合いを取り入れたか

①菌ちゃん先生の実習で利用した畑では、講座の後も参加者が畑の作物の生育を見守り、SNS で参加者にその様子をシェアすることができた。
②生ごみ処理機キエーロの自作ワークショップのオンラインで作り方や使い方をキエーロの先輩利用者に教えていただいた。
③ワークショップ当日は、参加者は２人１組になり助け合いながら、教え合いながら作業が出来た。
木材の準備と実習の指導でご協力いただいた加茂川ホリディフォレスターの皆さんの日頃の活動を紹介していただき、今後、活動に参加したいと感じたワークショップ参加者もいた。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

キエーロ作成ワークショップの参加者は、全員がキエーロの特性や利用方法などを、開発者やベテラン利用者から事前にオンラインで勉強した上で製作実習を行うことが出来た。
木材の切り出しなど、事前にしっかり準備をしていたので、初心者でも短時間で組み立てることが可能だった。
できあがったキエーロを持ち帰り、黒土を入れれば、生ごみを入れてすぐ利用開始できた。

３．取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

・農薬や化学肥料を使用しない、生ごみを利用した循環型農業を気軽に知ってもらえるよう菌ちゃん先生の講習の録画を編集し、YouTube で公開した。また、キエーロ自作ワークショップに参加した方へのアンケートで「実際の生活の中で使えることが楽しみ」などの感想があり、循環型の有機農業を手軽にはじめられる魅力を伝えることができた。
・農薬や化学肥料が高騰している中、有用な有機肥料になる生ごみを続けられる形で処理し（においや虫の心配なく）堆肥にすることができる。→持続可能で環境保全型の生活スタイルや農業の推進
・生ごみ処理機キエーロは、地元の木材で作成。→プラスティックの利用を減らす
・キエーロは非電化なので、災害時も安心。
・ゴミの減量

・自作したたい肥でを野菜作りが可能となる。キエーロを畑の中を移動させて設置、畑の色々な場所に順番に置いて利用することも可能。畑がない場合でも、土があれば庭の片隅に設置可能。 ・キエーロの特性や利用方法などを、開発者やベテラン利用者から継続的にオンラインで勉強できる繋がりができた。→継続的な実践フォローが可能
４．今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域のESDの取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）
定期的に食や農についての勉強会の開催をし、様々な立場の方と情報交換を行うことで、岡山地域の永続可能な生活スタイルや農業、安全な食、についての課題を解決するアイデアを掘り起こしたい。 今回は、キエーロを作成する勉強会を行うことで、全国のキエーロ愛好家の集まりであるキエーロオフィシャルさんと繋がることができた。今後も引き続き情報交換を続けることで、キエーロを利用する中での疑問や課題を解決する方法を学んでいきたい（途中で挫折しないようみんなで励まし合いながら）。 また、吉備中央町の加茂川ホリディフォレスターの皆さんには、キエーロの材料を製材していただいただけでなく、当日の実技指導も丁寧にしていただき大変ありがたかった。実習終了後には加茂川ホリディフォレスターの活動紹介をしていただき、参加者の皆さんも活動内容（栗拾いや竹チップなど）に興味津々であった。今後、互いの活動にも参加してみたいと感じた。 引き続き、農を取り巻く法律や制度に関係する学びを深め、他の活動団体とつながり学び合い、環境保全型・循環型（化学肥料・化学農薬を必要としない）の農業が岡山県全体の動きになるような学習会を続けてゆきたい。 農薬や化学肥料の使用の少ない農業のために必要なことを調査し、給食の食材として安心な作物をを供給できるようにするためにどのような工夫ができるか情報発信を行ってゆきたい。